

HDCS-3000S

取扱説明書

canopus

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社 システムエンジニアリング部 サポート担当までお問い合わせください。

カノープス株式会社 システムエンジニアリング部
サポート担当

TEL. 078-992-4432 (10:00~12:00、13:00~17:00)

※土、日、祝日および当社指定休日を除く

FAX. 078-993-4776 (24時間受付)

※回答は土、日、祝日および当社指定休日を除く

安全にお使いいただくために

絵表示について

本製品を正しくお使いいただくために次のような表示をしています。

内容をよく理解してから本文をよくお読みください。



取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。

 は注意を促す事項を示しています。

 はしてはいけない行為を示しています。

 はしなければならない行為を示しています。



● 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。

ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。

コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社システムエンジニアリング部まで交換をご依頼ください。



分解禁止

● キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社システムエンジニアリング部までご依頼ください。



禁止

● ほこりや湿気の多い場所では使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。



禁止

● 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社システムエンジニアリング部までご連絡ください。



禁止

● 雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

● めれた手でACアダプタを触らない

めれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



火災

● 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



プラグを抜く

● 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社システムエンジニアリング部までご連絡ください。



プラグを抜く

● 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社システムエンジニアリング部までご連絡ください。



注意



注意

● 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。

落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。



プラグを抜く

● お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。

感電や製品の故障の原因となります。

お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。



注意

● 指定外のACアダプタを使わない

付属のAC アダプタ以外の製品を使わないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



注意

● コード類は正しく配置する

電源コードやAV ケーブルは整理して配置してください。

足にひかけると、けがや製品の故障の原因となります。



火災

● 本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。

通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。



注意

● 長時間使わないときはACアダプタを外す

使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから外してください。

■ 個人情報の取扱いについて

当社では、原則として ①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記目的以外では使用せず、 ②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾無く第三者に開示・提供することはありません。

1. ご利用の当社製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
 - * 調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送
 - * お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせは<http://www.canopus.co.jp/info/>までご連絡ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 operating systemをWindows 2000、Microsoft® Windows® XP operating systemをWindows XP、Microsoft® Windows® Server 2003 Standard EditionをWindows Server 2003と表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。



警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に「てんかん・意識の喪失」などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

HDCS-3000S

取扱説明書

April 14, 2006

Copyright © 2006 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

目 次

Chapter 1 1

1.はじめに	2
1-1.ご使用に当たっての留意事項	2
1-2.パッケージ内容の確認	2
■ HDCS-3000S 同梱物	2
1-3.当社ホームページについて	3
1-4.利用許諾について	4
2.HDCS-3000S について	5
2-1.基本構成	5
2-2.応用構成のご紹介	6
2-3.HDCS-3000S/Rシステムのまとめ	9

Chapter 2 11

1.HDCS-3000Sの各部の名称と機能	12
1-1.HDCS-3000S 前面部	12
1-2.HDCS-3000S 背面部	13
1-3.リモコン	14
1-4.フェライトコア	15
2.接続と動作確認	16
2-1.準備	16
2-2.機器の接続	19
2-3.動作確認	20

Chapter 3 23

1.設定について	24
2.フロントパネルによる設定	25
2-1.NETWORK	26
2-2.SYSTEM	28
2-3.INFORMATION	29
2-4.SHUTDOWN	30

3.Webコンソールからの設定	31
3-1.準備と起動	31
3-2.起動画面と項目	33
3-3.情報表示	34
3-4.サーバー／クライアント一覧	36
3-5.状態表示	37
3-6.ローカル設定	38
3-7.日時の設定	41
3-8.再起動	42
3-9.工場出荷時の設定に戻す	43
3-10.ファームウェアの更新	44
3-11.ユーザー名・パスワードの変更	45
3-12.ソフトウェア・ライセンス	46

Appendix 47

1.HDCS-3000S /ハードウェア仕様	48
2.設置に必要な領域	49
3.コネクタピン配置	50
3-1.1000Base-TX/1000Base-T Ethernet(LAN)	50
3-2.Serial port(COM)	51



Chapter 1

この章ではHDCS-3000Sのセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

- はじめに
- HDCS-3000Sについて

1 はじめに

1-1 ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

1-2 パッケージ内容の確認

HDCS-3000S の梱包に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました代理店または当社営業担当までご連絡ください。ご連絡先がお分かりにならない場合は下記までFAXにてご連絡ください。

カノーブス株式会社 システムエンジニアリング部 FAX 078-993-4776

■ HDCS-3000S 同梱物

- ☐ HDCS-3000S 本体
- ☐ AC アダプタ & AC ケーブル
- ☐ フェライトコア×2
- ☐ 取扱説明書（本書）
- ☐ お客様情報登録シート

本製品についてのアップデート情報などをお送りさせていただきますので、お客様情報登録シートにご記入いただき、下記までFAX またはコピーを郵送にてご返送ください。

カノーブス株式会社 FAX 078-992-7814
〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-4 システム製品登録係

1-3 当社ホームページについて

HDCS-3000S をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。

1-4 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部にGNU 一般公衆利用許諾（GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ）またはGNU 劣等一般公衆利用許諾（GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ）に該当するフリーソフトウェアを利用しています。GPL/LGPLに該当する個々のフリーソフトウェア（以下「このプログラム」と呼ぶ）については、下記事項が適用されます。

このプログラムはフリーソフトウェアです。あなたはこれを、フリーソフトウェア財団によって発行されたGNU 一般公衆利用許諾契約書（バージョン2 またはそれ以降）またはGNU 劣等一般公衆利用許諾契約書（バージョン2.1）の定める条件の下で再頒布または改変することができます。

このプログラムは有用であることを願って頒布されますが、まったくの無保証です。商業可能性の保証や特定の目的への適合性は、言外に示されたものも含めまったく存在しません。詳しくはGNU 一般公衆利用許諾契約書またはGNU 劣等一般公衆利用許諾契約書をご覧ください。

あなたはこのプログラムと共に、GNU 一般公衆利用許諾契約書またはGNU 劣等一般公衆利用許諾契約書の複製物を一部受け取ったはずですが、もし受け取っていないければ、フリーソフトウェア財団まで請求してください。（あて先は、the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA）。

GPL/LGPL 該当ソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は、カノーブス株式会社 システムエンジニアリング部までお問い合わせください。

カノーブス株式会社 システムエンジニアリング部

電話：078-992-4432

（月曜～金曜 10:00-12:00/13:00-17:00 土日祝日および当社指定休日を除く）

FAX：078-993-4776

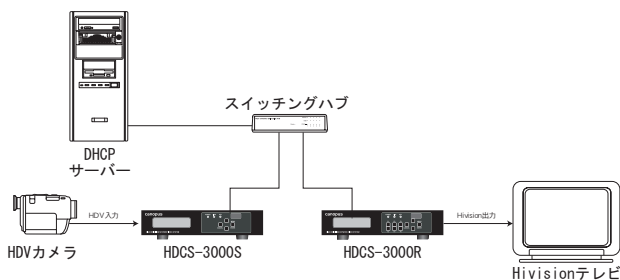
（24 時間受付 回答は土日祝日および当社指定休日を除く）

2 HDCS-3000S について

2-1 基本構成

HDCS-3000Sは、HDCS-3000Rと組み合わせて使用することで、HDCS-3000Sに接続されたHDVカメラの映像を、LAN環境を介してHDCS-3000Rに伝送するための装置です。HDCS-3000Rに入力されたRS-232Cコマンドを受け取り、HDCS-3000S側のRS-232C端子から出力するRS-232Cパススルー機能も搭載しています。

以下にもっとも基本となる1対1の映像伝送システムの構成を示します。



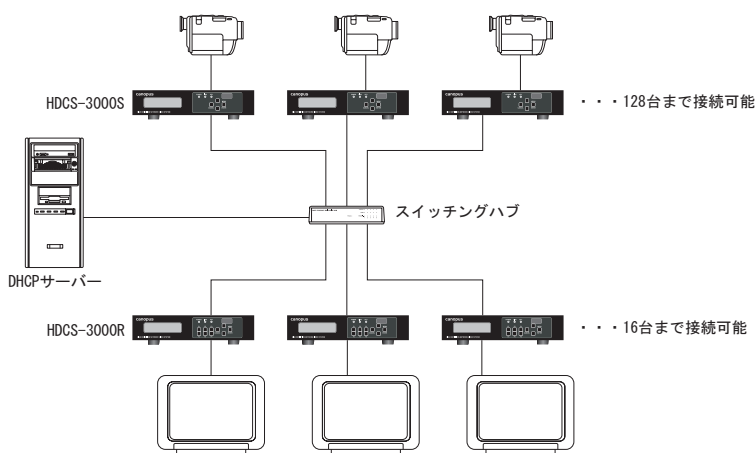
2-2 応用構成のご紹介

多対多システム

このシステムでは、同一ネットワーク上に複数のHDCS-3000SとHDCS-3000Rを接続し、任意のHDCS-3000SとHDCS-3000R間で通信を行うことができます。

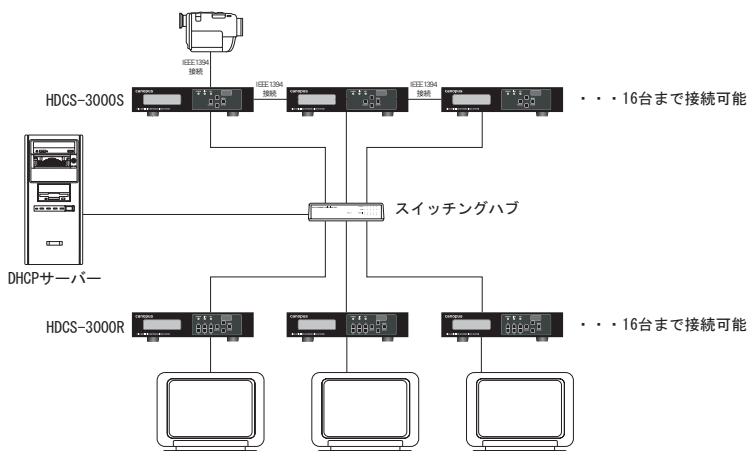
HDCS-3000R側で任意のHDCS-3000Sを選択する操作を行います。HDCS-3000Sは1台のHDCS-3000Rにのみ映像を伝送することができます。1台のHDCS-3000Sが複数のHDCS-3000Rに同一映像を送信することはできません。

同一ネットワーク上にHDCS-3000Sは128台、HDCS-3000Rは16台まで接続することができます。1組の伝送システムあたり約30Mbpsのネットワーク帯域を必要とします。



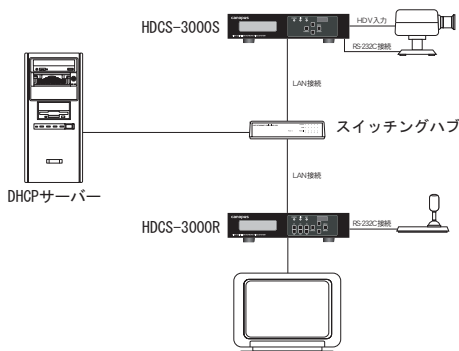
同一映像を複数端末で表示するための多対多システム

HDCS-3000SとHDCS-3000Rは1対1での接続を前提としたシステムで、基本的に1対多への伝送はサポートしていません。しかしHDCS-3000SをIEEE1394でデジチェーン接続することにより、同一映像を複数のHDCS-3000Rで受信することが可能です。この場合でも、HDCS-3000SとHDCS-3000R間の通信は1対1で常に行われますので、同時使用にあたり、1組あたり約30Mbpsのネットワーク帯域を確保する必要があります。また、設置可能なHDCS-3000Rの最大数は16台となります。



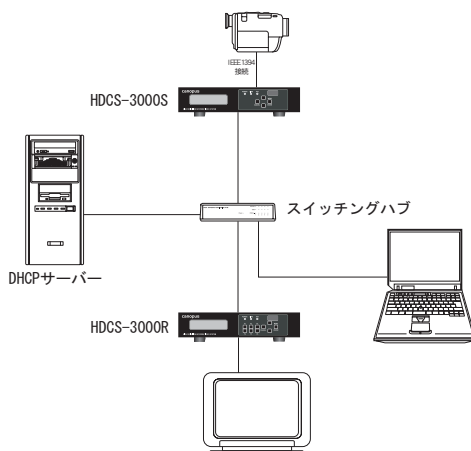
RS-232C パススルー機能

HDCS-3000S/RにはRS-232C端子が搭載されており、入力されたシリアルコマンドをパススルーすることができます。RS-232Cパススルー機能は、入力されたシリアルコマンドをそのままもう一方のRS-232C端子から出力する機能で、特定のコマンド体系に依存しませんので様々な形での応用が考えられます。



PC からの端末設定

HDCS-3000SやHDCS-3000RにはWebから各種機能の設定を行うことができるWebコンソール機能があります。Webコンソールを利用するためには、同一ネットワーク内に各ユニットにアクセスするための正しい設定が行われたパソコンを接続する必要があります。



ネットワークの設定、PC の設定については第三章をご覧ください。

2-3 HDCS-3000S/R システムのまとめ

ハイビジョンネットワーク伝送システム

ハイビジョンの映像をネットワークを介して伝送し、もう一方に接続されたユニットでデコードした映像を出力するハイビジョン対応ネットワークビデオ伝送システムです。SD へのダウンコンバート出力にも対応しています。

複数台数の設置について

1 ネットワーク内に伝送用ユニットは128台、受信用ユニットは16台まで設置可能です。同時伝送可能な本数はネットワークの帯域に依存します。1伝送に必要なネットワーク帯域は約30Mbpsです。

ネットワーク環境について

HDCS-3000S/HDCS-3000Rは次の3種類のネットワーク環境で運用することができます。

- ・ DHCP を使用して各ユニットに IP アドレスを割り当てる
- ・ 各ユニットの IP アドレスを手動で指定する
- ・ AutoIP 機能を利用して各ユニットにユニークな IP を自動的に割り当てる

RS-232C パススルー

ユニットに搭載されたRS-232C端子は、ネットワークを介して接続されたもう一方のユニットとコマンドの送受信が可能です。

PC からの端末設定

ネットワーク環境にパソコンを接続し、設定や各ユニットの通信状態の確認、接続などの操作を行うことができます。

対応映像フォーマット

HDCS-3000S が伝送可能な映像データフォーマットはHDV 形式です。

動作確認済み HDV 対応ビデオ機器

HDCS-3000S/HDCS-3000Rでお使いいただけることが確認されているHDV対応機器は以下のとおりです。

メーカー	型番	出力フォーマット
SONY	HDR-HC1	HDV 1080i/60Hz
SONY	HDR-HC3	HDV 1080i/60Hz
SONY	HDR-FX1	HDV 1080i/60Hz
CANON	XL H1	HDV 1080i/60Hz F1(30F) F2(24F)



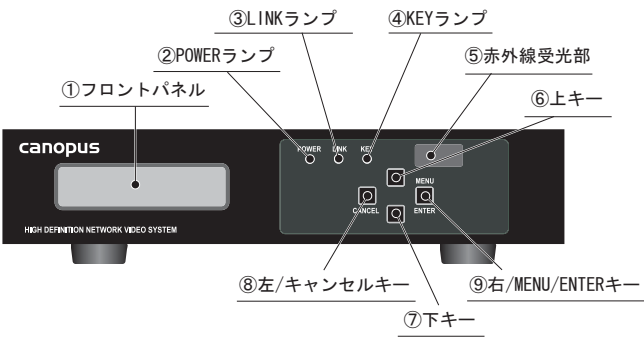
Chapter 2

この章では HDCS-3000S の各部の機能などを説明します。

- HDCS-3000S の各部の名称と機能
- 接続と動作確認

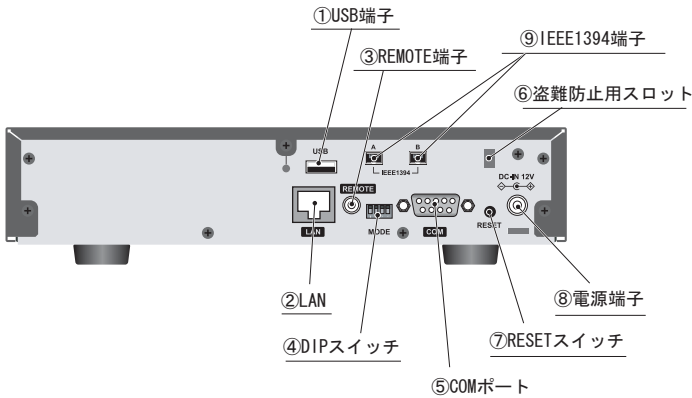
1 HDCS-3000S の各部の名称と機能

1-1 HDCS-3000S 前面部



- ①フロントパネル..... 現在のステータス、設定メニューを表示します
- ②POWER ランプ..... HDCS-3000S 動作時に点灯します
消灯： 電源が入っていません
点灯： 動作中
点滅： 起動中 / 終了中
- ③LINK ランプ..... ネットワークの状態を表示します
消灯： ネットワーク機器と接続されていません
点灯： ネットワーク機器と接続されていますがデータの送受信は行っていません
点滅： ネットワーク機器と接続されており、データの送受信を行っています
- ④KEY ランプ..... 赤外線リモコンまたはREMOTE 端子からキー信号を受信した時に点灯します
- ⑤赤外線受光部..... リモコンの赤外線受光部が内蔵されています
- ⑥上キー..... 設定メニュー操作時に上に移動
- ⑦下キー..... 設定メニュー操作時に下に移動
- ⑧左 / キャンセルキー..... 設定メニュー操作時にひとつ前に移動
キャンセルキーとして使用
- ⑨右 / MENU/ENTER キー..... 設定メニューを表示
設定メニュー操作時に項目を選択
確定キーとして使用

1-2 HDCS-3000S 背面部

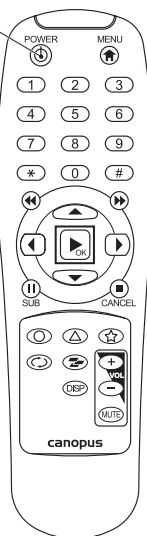


- ① USB 端子 USB 端子
- ② LAN ネットワークケーブルを接続する端子です
- ③ REMOTE 端子 有線リモートコントロール用端子
- ④ DIP スイッチ すべて OFF の状態で使用します
設定を変更しないでください
- ⑤ COM ポート RS-232C 端子 (パススルー用)
- ⑥ 盗難防止用スロット 盗難防止用ワイヤロックなどに使用します
- ⑦ RESET スイッチ 緊急時のリセットに使用します
通常は使用しないでください
- ⑧ 電源端子 AC アダプタを接続します
- ⑨ IEEE1394 端子 IEEE1394 端子 (4pin) が 2 系統あります

1-3 リモコン(オプション)

リモコンは標準セットには含まれておりません。オプションでのお取り扱いとなります。詳しくは当社までお問い合わせください。

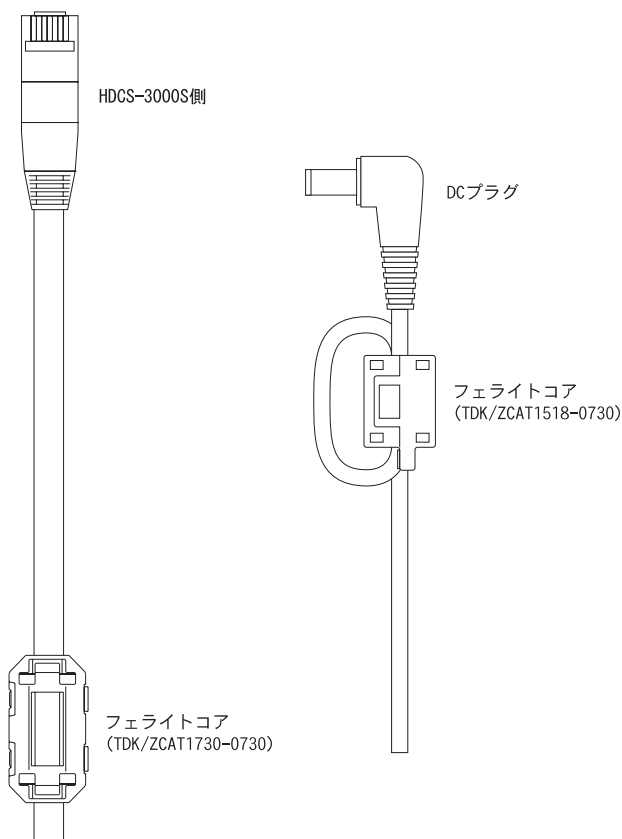
①POWERボタン



① POWER ボタン..... 起動・終了

1-4 フェライトコア

ネットワークケーブルおよびACケーブルには、付属のフェライトコアを取り付けてください。



2 接続と動作確認

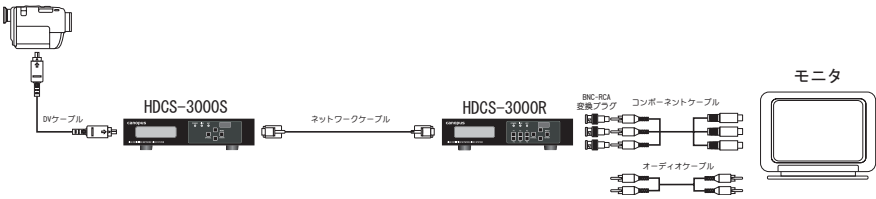
2-1 準備

HDCS-3000Sが正常に動作することを確認するための方法として、最小の機器構成でテストを行う手順について説明します。本動作テストには以下の機器を使用します。

映像ソース	HDCS-3000Sに接続可能な機器をご用意ください
送信側ユニット	HDCS-3000S(本製品)
受信側ユニット	HDCS-3000R を1 台をご用意ください
モニタ	HDCS-3000Rの映像を表示できるモニタをご用意ください

また、このテストには上記機器以外に以下のケーブル類を必要とします。

- ・ 4pin-4pin IEEE1394 ケーブル
- ・ ネットワークケーブル (CAT5e 規格準拠) x1
- ・ コンポーネント接続用ケーブル (HDCS-3000R 側は BNC または RCA での接続になります)
- ・ オーディオ接続用ケーブル (HDCS-3000R 側は RCA での接続になります)



事前準備 1 ネットワーク設定

HDCS-3000S は工場出荷時には DHCP を使用して IP アドレスを自動的に取得する設定になっています。本テストを実施する場合には、ネットワーク設定を事前に変更する必要があります。

以下の手順に従ってネットワークモードを [AutoIP] に変更してください。

- 1** HDCS-3000S に AC アダプタを接続してください。フロントパネルの液晶画面に起動中のメッセージが表示されます。

Boot System
- 2** 起動が完了すると HDCS-3000S と表示されます。[右/MENU/ENTER] キーを押して設定メニュー表示に切り替えます。

MENU
1. NETWORK
- 3** [右 /MENU/ENTER] キーを押してください。

NETWORK
1. IP configuration
- 4** [IP configuration] を選び、[右 /MENU/ENTER] キーを押してください。

IP configuration
[DHCP]
- 5** [上] キーまたは [下] キーを押して AutoIP を選び、[右 /MENU/ENTER] キーを押してください。

IP configuration
[AutoIP]
- 6** 以下の画面が表示されるまで [左 /キャンセル] キーを押してください。
(通常2回 [左/キャンセル] キーを押すと表示されます。)

Save config(Y/N)?
[YES]

- 7** [右 /MENU/ENTER]キーを押すと設定が保存され、以下の画面が表示されます。

Please reboot!
<OK> reboot

- 8** [右 /MENU/ENTER]キーを押して HDCS-3000S を再起動してください。

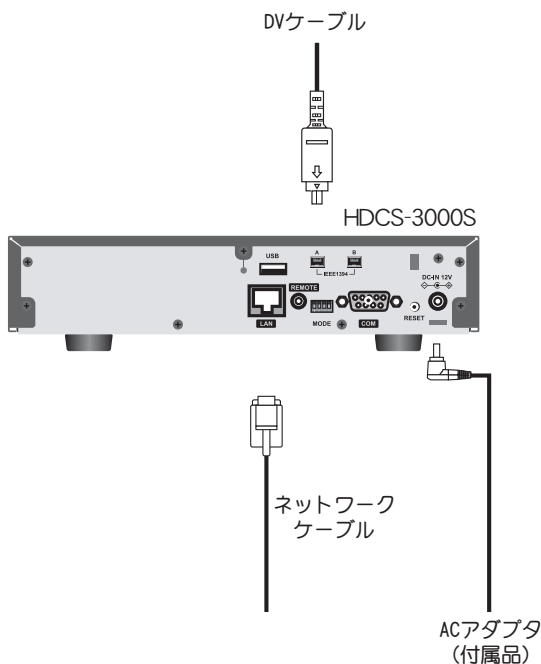
同様にHDCS-3000Rも[NETWORK]の[IP configuration]を[AutoIP]に設定してください。

事前準備 2 HDCS-3000R のビデオ出力モード確認

HDCS-3000Rは工場出荷時にはコンポーネント (Y/Pb/Pr) 出力端子から1080i (60Hz) 信号を出力する設定になっています。表示に使用するモニタに適合した信号が出力されるよう HDCS-3000R の設定を行ってください。HDCS-3000R の出力モードの設定方法については、HDCS-3000Rのマニュアルを参照してください。

2-2 機器の接続

以下の接続例を参考に、HDCS-3000S と映像ソースを接続してください。
(注意) 接続はすべての機器が電源 OFF の状態で行ってください。



2-3 動作確認

表示テストを行います。カメラ、HDCS-3000S、HDCS-3000Rおよびモニタの電源を入れてください。HDCS-3000S、HDCS-3000RはACアダプタを接続すると自動的に電源が入ります。

- 1

すべての機器の電源が入った状態で、HDCS-3000Rの[右/MENU/ENTER]キーを押し設定メニューを表示してください。

MENU

1. VIDEO
- 2

[下]キーで項目を送り、[AUTO KEY CONFIG]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

MENU

3. AUTO KEY CONFIG
- 3

[Full reset]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

AUTO KEY CONFIG

[Full reset]
- 4

「Success!」と表示された後、以下のメニューに戻ります。

MENU

3. AUTO KEY CONFIG
- 5

以下の画面が表示されるまで[左/キャンセル]キーを押してください。(通常1回で表示されます。)

HDCS-3000R

STOP
- 6

フロントの[F1]キーにHDCS-3000S が自動的に割り当てられています。[F1]キーを押すと、映像の伝送が開始されます。

映像モニタに何も表示されない場合

- HDCS-3000R と HDCS-3000S の LINK ランプが点灯していない場合
 - ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
 - ・ ネットワークケーブルに断線などの不具合がないかご確認ください。

- HDCS-3000R のフロントパネルが次のような表示になっていない場合

HDCS-3000R
PLAY ← U-xxxxxx

※ xxxxxx には MAC アドレスが表示されます。

- ・ フロントパネルに「CONNECT ERROR」と表示されている
HDCS-3000S が正しく認識できていない可能性があります。HDCS-3000R および HDCS-3000S のメニュー項目 [NETWORK] の [IP Configuration] が [AutoIP] に設定されているかご確認ください。
 - ・ フロントパネルに「NO HDV」と表示されている
HDCS-3000S の IEEE1394 端子に HDV データが入力されていない可能性があります。HDCS-3000S に接続した HDV 機器を確認してください。
- 映像が乱れている、同期が合わない映像が表示される状態になっている場合
 - ・ HDCS-3000R のビデオ出力モードがお使いのモニタに適合した出力になっているかご確認ください。
 - ・ ネットワーク間のデータ転送が正しく行えず、データが欠落している可能性があります。ネットワークケーブルなど、ネットワークに関係する機器を確認してください。



Chapter 3

この章では HDCS-3000S の設定方法などを説明します。

- 設定について
- フロントパネルによる設定
- Web コンソールからの設定

1 設定について

HDCS-3000S では、ユニットの設定を以下の方法で行うことができます。

- ・ フロントパネルから設定を行う
- ・ パソコンを使用してWeb コンソールから設定を行う

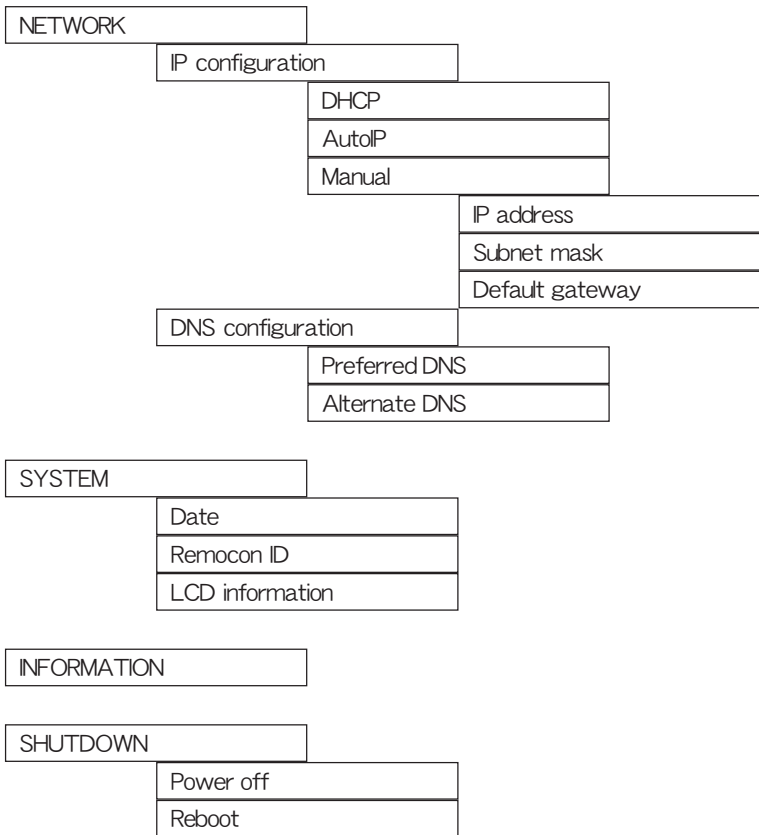
次節においてにそれぞれの設定方法の説明を示します。

なお、フロントパネルとWeb コンソールでは、設定可能な項目に違いがあります。Web コンソールではすべての設定が行えますが、フロントパネルでは一部の項目が設定できません。

	フロントパネル	Web コンソール
LCD 表示	○	○
リモコンID	○	○
ユニット名	×	○
ユニットを自動検出する	×	○
ストリーム待機ポート番号	×	○
IP アドレス	○	○
サブネットマスク	○	○
デフォルトゲートウェイ	○	○
優先 DNS サーバー	○	○
代替 DNS サーバー	○	○
NTP サーバー	×	○
更新間隔	×	○
リモートシリアル	×	○
待機ポート番号	×	○
通信速度	×	○
データビット長	×	○
パリティ	×	○
ストップビット長	×	○

2 フロントパネルによる設定

フロントパネルから設定できるメニューには以下の項目があります。



基本的なメニューの操作方法について

[上][下]	メニューや設定項目はこのキーを押して切り替えます。
[左/CANCEL]	メニューのひとつ前の階層に戻る場合、操作をキャンセルする場合、設定メニューを終了する場合に使用します。
[右/MENU/ENTER]	メニューモードを表示する場合、メニューの次の項目に進む(項目を選択する)場合、操作を確定する場合に使用します。

2-1 NETWORK

NETWORK-IP configuration

HDCS-3000S に IP アドレスを割り当てる方法を設定します。

DHCP	DHCPによって割り当てられるIPアドレスを使用します。
AutoIP	ネットワーク内の空きアドレスを自動的に判別して使用します。
Manual	IPアドレスを手動で設定します。

AutoIP によって割り当てられる IP アドレス
169. 254. 0. 0/16(169. 254. 0. 1～169. 254. 255. 254) から適当なアドレスを選び、ARP による確認で反応がない場合にそのアドレスを使用します。

□ Manual による指定方法

Manual を選択すると、サブメニューとして[IP address]、[Subnet mask]、[Default gateway]が選択できます。

IP address

xxx. xxx. xxx. xxx

Subnet mask

xxx. xxx. xxx. xxx

Default gateway

xxx. xxx. xxx. xxx

いずれも[上][下]キーで数字が送られ、[右 /MENU/ENTER]キーで次の項目に、
[左 /CANCEL]キーで前の項目に戻ります。
一番左の項目で[左 /CANCEL]キーを押すと設定をキャンセル、一番右の項目で
[右 /MENU/ENTER]キーを押すと確定されます。

NETWORK-DNS configuration

DNS サーバーを指定する場合に設定をおこないます。

Preferred DNS	プライマリ DNS サーバーのアドレスを指定します。
Alternate DNS	代替 DNS サーバーのアドレスを指定します。

□ 指定方法

Preferred DNS
xxx. xxx. xxx. xxx

Alternate DNS
xxx.xxx.xxx.xxx

いずれも[上][下]キーで数字が送られ、[右 /MENU/ENTER]キーで次の項目に、
[左 /CANCEL]キーで前の項目に戻ります。
一番左の項目で[左 /CANCEL]キーを押すと設定をキャンセル、一番右の項目で
[右 /MENU/ENTER]キーを押すと確定されます。

2-2 SYSTEM

SYSTEM メニューでは、以下の項目の設定が行えます。

Date	日付と時刻の設定を行います。
Remocon ID	使用するリモコンのIDと同じIDに設定してください。
LCD information	動作中 LCD に標準で表示する情報を選択します。 Player status プレイヤーの状態を表示します。 IP address IP アドレスを表示します。 Unit name ユニット名を表示します。 Date 日付と時刻を表示します。

2-3 INFORMATION

INFORMATION メニューを使用すると、現在の設定をLCD に表示させることができます。
[上] [下] キーで項目を送ることができます。

項目	LCD表示
Unit name	Unit name Xxxxxxxx xxxxxxxxxx にユニット名が表示されます。
IP address MAC address	IP=xxx. xxx. xxx. xxx MA=xx:xx:xx:xx:xx:xx
Subnet mask Default Gateway	Sub=xxx. xxx. xxx. xxx G/W=xxx. xxx. xxx. xxx
Preferred DNS Alternate DNS	DNS1=xxx. xxx. xxx. xxx DNS2=xxx. xxx. xxx. xxx
System version	System version 1. 0. 0

[左 /CANCEL] キーで設定メニュー表示に戻ります。

2-4 SHUTDOWN

システムを終了または再起動します。

Power off	システムをシャットダウンし、 電源を切ります。
Reboot	システムをシャットダウンし、 再起動します。

3 Web コンソールからの設定

HDCS-3000S と同一ネットワーク内に PC を接続し、Web ブラウザからアクセスすると、Web コンソールによる設定を行うことができます。Web コンソール画面ではフロントパネルによる設定よりも細かく設定を行うことができますので、システムの設定を行う際、PC が利用可能であればこちらでの設定を推奨いたします。

3-1 準備と起動

必要なシステム

Internet Explorer6 (IE6) でのみ動作確認しています。IE6 が動作可能な Windows XP を搭載した PC をご用意ください。

PC の設定

設定に使用するパソコンは、設定を行いたい HDCS-3000S/HDCS-3000R と同一ネットワーク上に存在する必要があります。また、PC のネットワーク設定を、HDCS シリーズを設置したネットワーク環境に適合する形に設定していただく必要があります。

DHCP	パソコンのIPアドレスの取得方法をDHCPから自動取得する設定にしてください。
AutoIP	パソコンのIPアドレスの取得方法をDHCPから自動取得する設定にしてください。Windows XP は DHCP サーバーが存在しない場合、自動的に AutoIP によるアドレス割り当てを行います。 DHCP サーバーが存在する場合、Windows XP パソコンに IP アドレスが割り当てられてしまい、AutoIP 設定になっている HDCS-3000R にアクセスできません。 DHCP サーバーが存在する場合は HDCS-3000R を DHCP モードに設定してください。
Manual	IP アドレスとサブネットマスクを接続するネットワークにあわせて手動で設定してください。

Web コンソールの起動

Web コンソールを起動するには、設定を行いたいユニットの IP アドレスを IE6 のアドレスバーに入力してください。

- ※ ユニットの IP アドレスはフロントパネルの設定メニューから [INFORMATION] (前節 3 項をご参照ください) を選ぶと確認できます。

設定パスワード

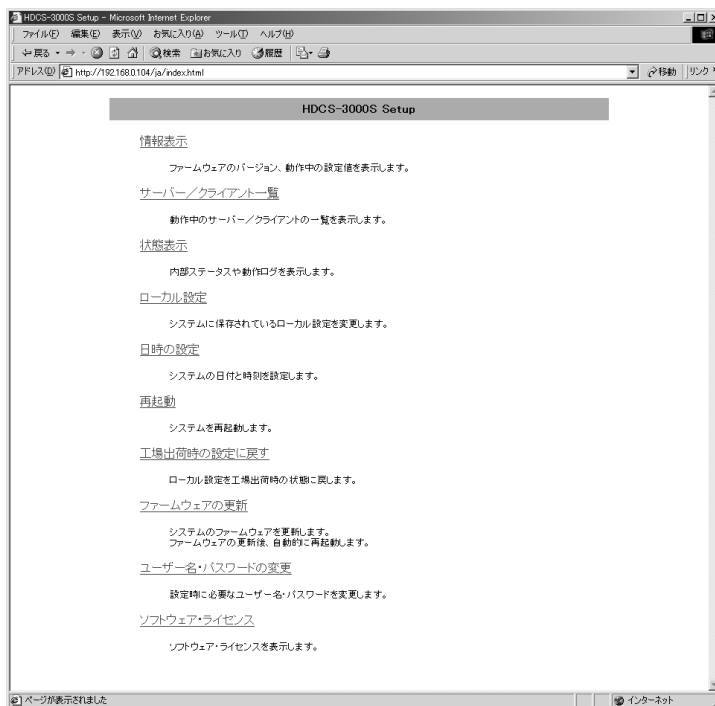
Web コンソールで設定の変更を行う場合、ユーザー ID とパスワードが必要です。工場出荷時のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

ユーザー名	admin
パスワード	なし (設定されていません)

ユーザー名およびパスワードは変更することができます。本節第 11 項をご参照ください。

3-2 起動画面と項目

Web コンソールを起動すると以下の画面が表示されます。



3-3 情報表示

システムの情報を表示します。各項目の詳細についてはそれぞれの設定ページの説明を参照してください。

バージョン情報

現行バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
---------	------------------------

システム設定

LCD 表示	LCD 表示情報を表示します。
リモコンID	リモコンID を表示します。
ユニット名	ユニット名を表示します。
ユニットを自動検出する	ネットワーク内のユニットを自動検出する設定になっています。
ストリーム待機ポート番号	ストリーム伝送に使用するポート番号を表示します。

ネットワーク設定

ネットワークモード	現在のネットワークモード 「DHCP を使用する」 「AutoIPを使用する」 「次のIPアドレスを使う」 のいずれかが表示されます。
IP アドレス	IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	サブネットマスクのアドレスを表示します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのアドレスを表示します。
優先 DNS サーバー	優先 DNS サーバーのアドレスを表示します。
代替 DNS サーバー	代替 DNS サーバーのアドレスを表示します。
NTP サーバー	NTPサーバーのアドレスを表示します。
更新間隔	NTPサーバーを利用して時計の更新を行う間隔を表示します。

シリアルポート設定

リモートシリアル	シリアルポートの接続方法を表示します。
待機ポート番号	シリアルポートのデータ伝送に使用するポート番号を表示します。
通信速度	通信速度を表示します。
データビット長	データビット長を表示します。
パリティ	パリティ設定を表示します。
ストップビット長	ストップビット長を表示します。

3-4 サーバー／クライアント一覧

ネットワーク内に接続されているサーバー (HDCS-3000S)、クライアント (HDCS-3000R)を一覧表示することができます。

接続状況の確認や、他のユニットの Web コンソールにジャンプすることができます。

接続状況

本ユニットの接続状況を表示します。

HDCS-3000S

同一システム内で検出された HDCS-3000S の一覧を表示します。

- ※ 表示されない場合は[ユニット検索]ボタンを押してください。数秒後に表示が更新されます。
- ※ ここに表示されていない場合、そのユニットの設定またはネットワークの設定が正しく行われていないことになります。

IP アドレスをクリックすると、そのユニットの Web コンソールを表示できます。

HDCS-3000R

同一システム内で検出された HDCS-3000R の一覧を表示します。

- ※ 表示されない場合は[ユニット検索]ボタンを押してください。数秒後に表示が更新されます。
- ※ ここに表示されていない場合、そのユニットの設定またはネットワークの設定が正しく行われていないことになります。

IP アドレスをクリックすると、そのユニットの Web コンソールを表示できます。

3-5 状態表示

ユニットの動作ログを表示できます。

表示種別

ログの種類を切り替えることができます。

種別	内容
ステータス	ネットワーク内のユニット一覧と現在の動作状態を表示
動作ログ	内部のソフトウェアが行った処理を一定量記録
hdyplayer	通信・再生プログラムのログ
pupnp	装置検出プログラムのログ
psci	RS-232C制御プログラムのログ
pwconf	Web コンソール制御プログラムのログ
thttpd	Web コンソールへの接続ログ

本ログは通信障害などの問題解析のために利用するものですので、ログの詳細情報については本書では説明しておりません。本ログの利用がシステム開発上必要な場合には当社までご相談ください。

更新間隔

ログの更新間隔を指定します。

更新まであと

ログの更新までカウントダウンします。

3-6 ローカル設定

ローカル設定メニューではシステムに保存されているローカル設定を変更します。
設定完了後、設定ボタンをクリックしてください。
本設定の変更にはシステムの再起動が必要になる場合があります。

ローカル設定の変更を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワード名を入力してください。

システム設定

LCD 表示

- 動作中 LCD に標準で表示する情報を選択します。
 - Player status プレイヤーの状態を表示します。
 - IP address IP アドレスを表示します。
 - Unit name ユニット名を表示します。
 - Date 日付と時間を表示します。

リモコン ID

使用するリモコンの ID と同じ ID に設定してください。

ユニット名

ユニット名を半角英数字およびハイフンで最大15 文字まで入力できます。工場出荷時状態では「U-xxxxxx」（x x x x x は MAC アドレス）が入力されています。

ユニットの自動検出

同一ネットワーク内のユニットを自動的に検出するかどうかを設定します。[自動検出する]を選択した場合、ネットワーク内にユニットが増設されるとサーバー/クライアント一覧のリストに追加されますが、定期的にネットワーク上にパケットを流しますのでトラフィックが増加します。
自動検出は SSDP によって行っています。

ストリーム待機ポート番号

ストリームの送信に使用するポート番号を指定します。

ネットワーク設定

IPアドレスの設定

DHCPを使用する	DHCPによって割り当てられるIPアドレスを使用します。
AutoIP を使用する	ネットワーク内の空きアドレスを自動的に判別して使用します。
次の IP アドレスを使用する	IP アドレスを手動で設定します。 IP アドレス、 サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイを設定してください。

AutoIP によって割り当てられる IP アドレス

169. 254. 0. 0/16 (169. 254. 0. 1 ~ 169. 254. 255. 254) から適当なアドレスを選び、ARP による確認で反応がない場合にそのアドレスを使用します。

DNS の設定

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する	DNS サーバーのアドレスを自動的に取得します。
次の DNS サーバーのアドレスを使用する	DNSサーバーのアドレスを手動で設定する場合に使用します。 優先DNSサーバーおよび代替DNSサーバーのアドレスを設定してください。

NTP の設定

NTP サーバーを利用しない	NTPサーバーを利用した時刻補正を行いません。
NTP サーバーを利用する	時刻補正にNTPサーバーを利用します。 利用するNTPサーバーと、 時刻補正を行う間隔を設定してください。

シリアルポート設定

リモートシリアル	無効 : シリアルポートを利用しません。 連動 : 接続した先とシリアルコマンドを送受信します。
待機ポート番号	シリアルコマンドの送受信に使用するポート番号を指定します。
通信速度	シリアルポートの通信速度を指定します。
データビット長	シリアルポートのデータのビット長を指定します。
パリティ	シリアルポートのパリティ設定を行います。
ストップビット長	シリアルポートのストップビット長を指定します。

3-7 日時の設定

日時の設定を行います。

日時の設定を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワード名を入力してください。

日時の設定

ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード

年 月 日 時 分 秒

☐ PC の時計に同期する

PCの時計に同期する

PCの時計に同期するをチェックして、設定ボタンをクリックすると、現在設定に使用しているPCから日時を取得して設定を行います。

3-8 再起動

システムの再起動を行います。ユーザー名とパスワードを入力し、再起動ボタンをクリックしてください。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワード名を入力してください。

3-9 工場出荷時の設定に戻す

システムを工場出荷時の設定に戻します。ユーザー名とパスワードを入力し、OK ボタンをクリックしてください。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワード名を入力してください。

3-10 ファームウェアの更新

ファームウェアの更新を行います。メーカーからの指示がない限り、ファームウェアのアップデートは行わないでください。

ファームウェアの更新を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワード名を入力してください。

ファームウェアの更新

ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード

現行バージョン Ver1.0.0

アップデートファイル

参照

ファームウェアの更新には時間がかかります。

画面が変わるまで暫くお待ちください。2度押し厳禁です。

ファイルの転送が終わるまでこのページを閉じないでください。

更新完了後、自動的に再起動します。

更新

キャンセル

ファームウェア更新の手順

1. 参照ボタンをクリックし、アップデートファームウェアを選択してください。
 2. ユーザー名とパスワード名を入力し、更新ボタンをクリックしてください。
- クリックの際に二度押ししないようご注意ください。

3-11 ユーザー名・パスワードの変更

ユーザー名・パスワードの変更を行う場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名	admin
パスワード	なし（設定されていません）

ユーザー名、パスワードを変更している場合には変更したユーザー名、パスワード名を入力してください。

ユーザー名・パスワード変更

現在のユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード

新しいユーザー名とパスワードを入力してください。

新ユーザー名

新パスワード

新パスワード再入力

※ユーザー名・パスワード共に 8 文字以内

※アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)のみ使用可能

OK キャンセル

ユーザー名・パスワードの更新の手順

1. 新ユーザー名の項目に新しいユーザー名を入力してください。
2. 新パスワードと新パスワード再入力の項目にパスワードを入力してください。
3. ユーザー名とパスワード名を入力し、OK ボタンをクリックしてください。

3-12 ソフトウェア・ライセンス

本システムで使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

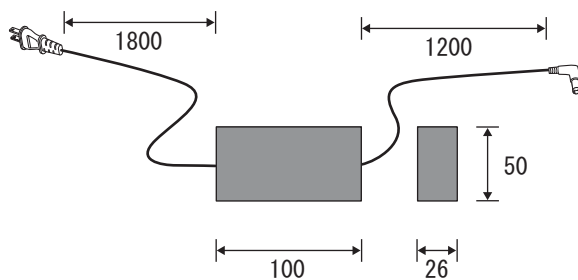
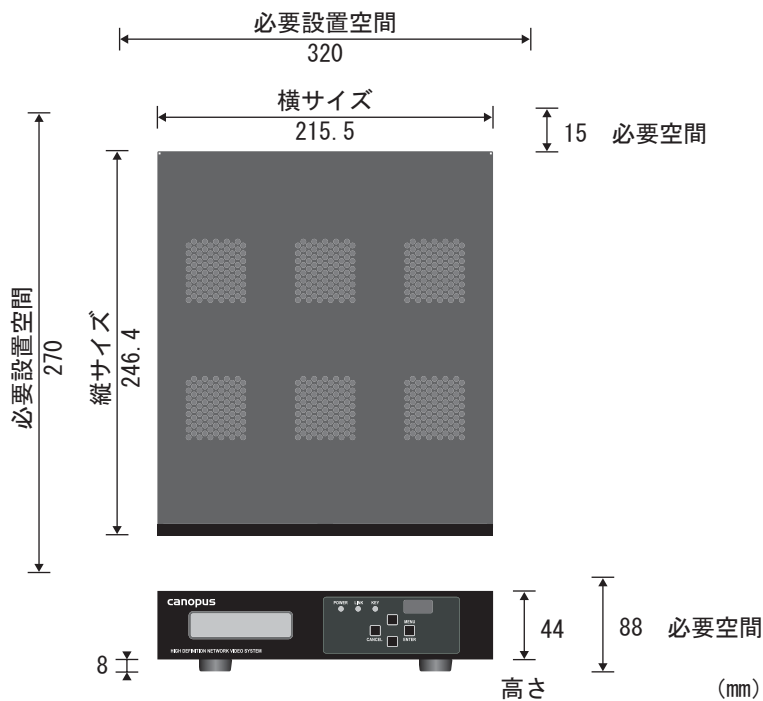


Appendix

1 HDCS-3000S ハードウェア仕様

ネットワークインターフェース		
形式	100Base-TX、 1000Base-T Ethernet／IEEE802.3 フレーム形式に準拠 オートネゴシエーション対応 フルデュプレックス対応	
端子	RJ45 モジュラコネクタ × 1	
リモートコントロール		
赤外線ワイヤレスリモートコントロール	ワイヤレスリモコン	赤外線受光部× 1
有線リモートコントロール	リモート制御端子	リモート制御用ミニジャック× 1 プラグ挿入による自動切換え(赤外線との排他使用)
汎用入出力		
シリアルポート	形式	EIA-232
	端子	DSUB-9 ピン (オス) × 1
IEEE1394 ポート	形式	IEEE1394準拠
	端子	IEEE1394 4 ピン × 2
U S B ポート	形式	USB2.0 準拠
	端子	USB タイプ A × 1
定格		
電源電圧	A C アダプタ	入力：AC 100V～240V (50Hz/60Hz) 出力：DC 12V 3A (max)
	本体	入力：DC 12V 2.2A (max)
温度条件	動作温度範囲	5～40℃
その他		
外形寸法	W 215.5×246.4×44 mm (端子、 突起物、 ゴム足含まず)	
重量	約 2kg	

2 設置に必要な領域

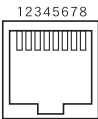


3 コネクタピン配置

3-1 1000Base-TX/1000Base-T Ethernet (LAN)

RJ45

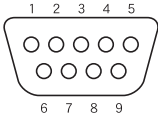
Pin#	Signal Name
1	TP0+
2	TP0-
3	TP1+
4	TP2-
5	TP2+
6	TP1-
7	TP3+
8	TP3-



3-2 Serial port (COM)

DSUB-9 male

Pin#	Signal Name
1	(open)
2	RD
3	TD
4	DTR*
5	GND
6	DSR*
7	RTS
8	CTS
9	(open)



*Internal short

